

命をあきらめない



がん血管内治療専門医
IGT クリニック理事長

医師：堀信一



子宮の希少がん
子宮内膜間質肉腫から9年

熊野安芸子



子宮頸がん
「余命3か月」から12年

善本考香



希少がん
「余命半年」から26年

杉浦貴之

2025年 **9/28** (日)
13:30 ~ 16:00 (open13:00)

「絶望的な状況」を生き抜いた杉浦氏、善本氏、熊野氏がいかに「生きる力」を見出し、回復への道を切り拓いていったか？さらに、善本氏を治療した堀信一医師が医療の可能性を伝える。

- 場所 IGTクリニック 大阪府泉佐野市りんくう往来南3番41 メディカルりんくうポート
- 料金 【会場】 3,500円 【アーカイブ（録画）視聴】 3,000円
- お問合せ i_wakui@yahoo.co.jp 080-4110-7342 (涌井)
- 共催 チームメッセンジャー NPO 法人 Smile Station ■ 協力 IGTクリニック



ネット申込

杉浦貴之（すぎうらたかゆき）

1971年愛知県生まれ。シンガーソングライター&『メッセンジャー』編集長。1999年28歳にして腎臓の希少がんと診断。当時「早くて半年、2年後の生存率0%」。左腎摘出手術、化学療法後、再発予防を目的に様々な養生法に取り組む。呼吸法をきっかけに体の回復を実感、歌うことへ繋がっていく。歌で命のメッセージを伝えている。2023年『がんステージIV克服』出版。

善本考香（よしもととしか）

NPO法人Smile Station代表。2011年に子宮頸がんと診断され、手術を受けるも5度の再発・転移を繰り返し、ステージIVに。「生存率0%・余命3か月」から、医師や医療従事者、ブログ、たくさんのご縁に支えられ、様々な治療を受け、根治に至る。これまで実践してきた『患者力』知識力・判断力・コミュニケーション力を、個別相談や患者会、セミナーや講演会で伝えている。

熊野安芸子（くまのあきこ）

（一社）アピアランスケア協会理事長。美容家として25年。2016年200万人に1人の希少がん（子宮内膜間質肉腫）に罹患、抗がん剤治療6クールを体験する中、副作用の美容的ケアや心理的ケアの必要性を実感し、2019年美容師と共にアピアランスケア協会を設立。治療前から治療後もアピアランスケアで外見から心のケアまでをサポートしています。

医師・堀信一（ほりしんいち）

医療法人龍志会 IGTクリニック 理事長／放射線科専門医・指導医/IVR専門医・指導医。徳島大学医学部卒業後、大阪大学放射線科で研修。スイス・ベルン大学でも研鑽を積む。がんに対するカテーテル治療（IVR）の第一人者として、標準治療が難しい患者にも新たな選択肢を提供。安心と納得の医療をモットーに、患者に寄り添う診療を行っている。善本考香氏を治療。